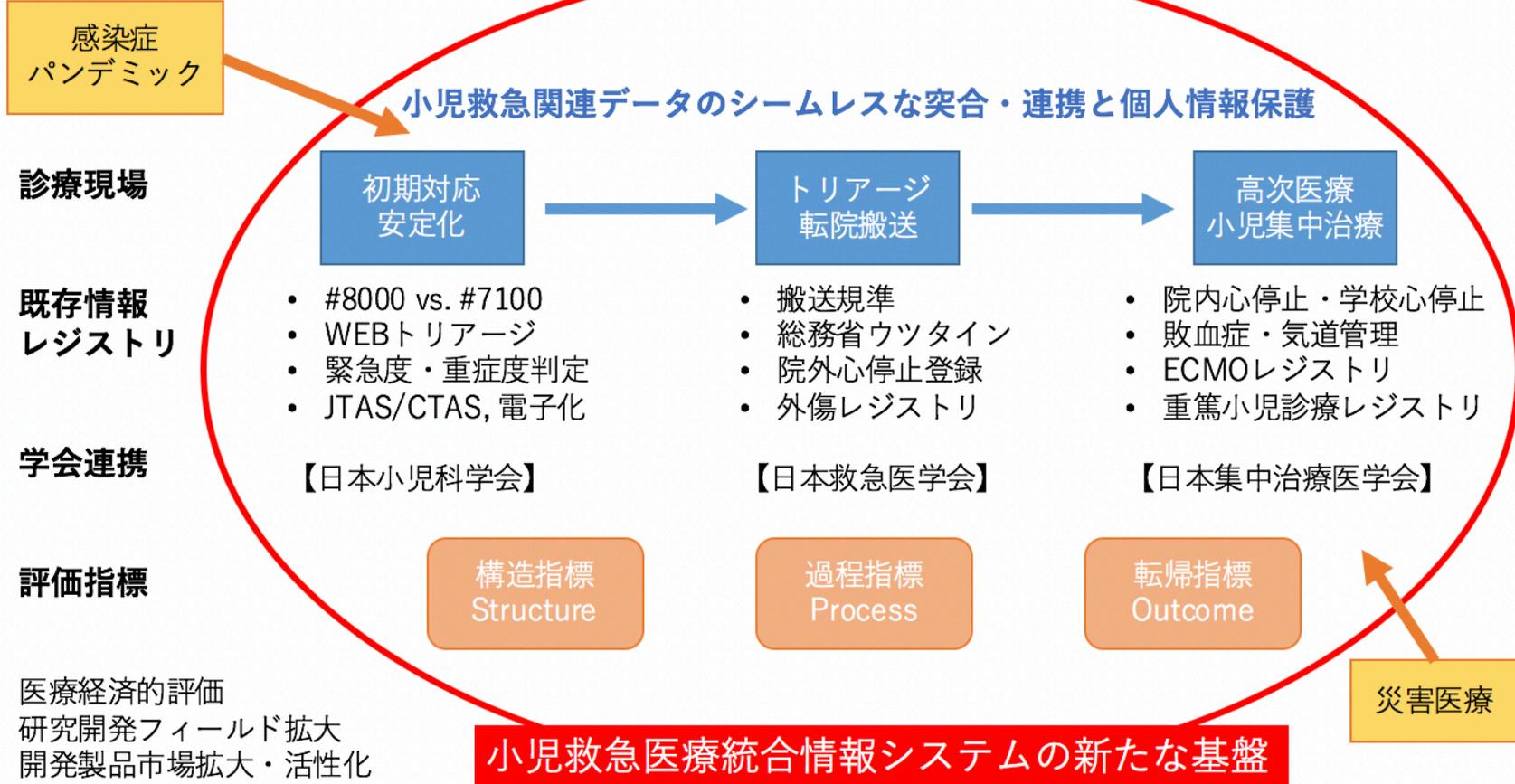


PDCAサイクル・Continuous Quality Improvement; CQI ⇒ 地域小児救急医療の品質改善



日本救急医学会
小児救急特別委員会

日本小児科学会
新興・再興感染症小委員会
小児救急委員会

日本集中治療医学会
小児集中治療委員会
小児集中治療連絡協議会

JAAM統合

JIPAD

Japanese Paediatric SARI and Emerging Infection Consortium

Trauma
Burn
etc.

JRSC

N4K

JAAM_OHCA

JaRPAC

JSEM_IHCA

JCS-ReSS
SOS-KANTO 2002/2012

Utstein

学校心停止

JNRCPR

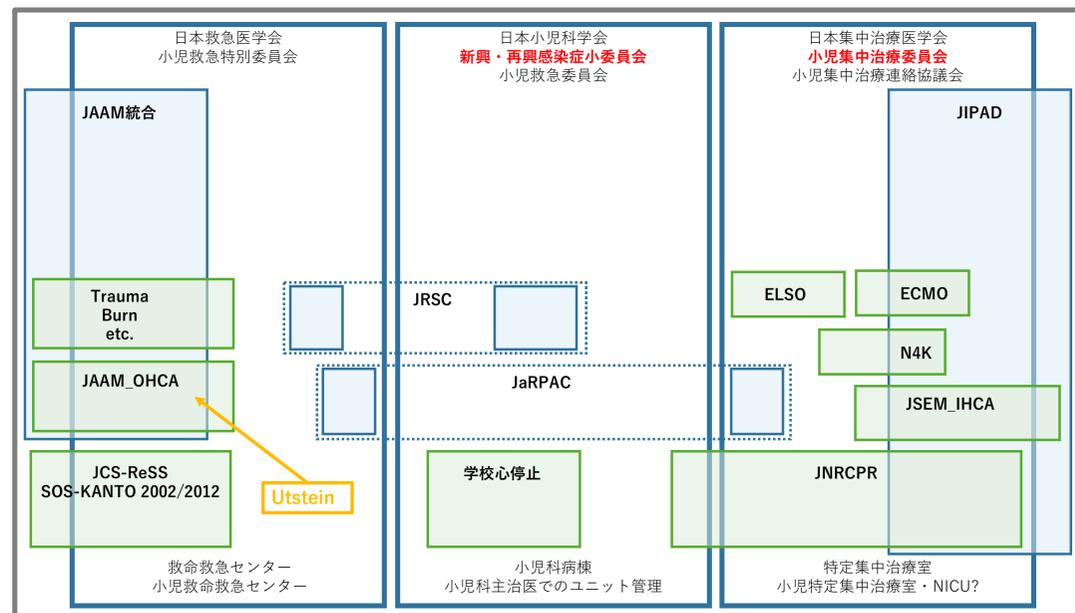
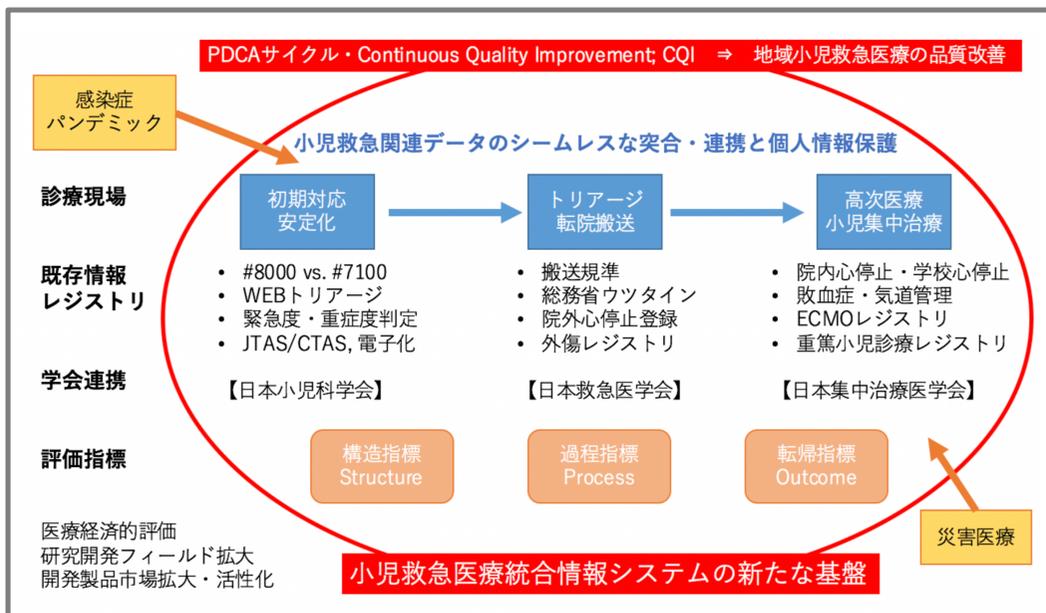
救命救急センター
小児救命救急センター

小児科病棟
小児科主治医でのユニット管理

特定集中治療室
小児特定集中治療室・NICU?

【研究の概要】

小児救急医療体制の品質評価・最適化・情報発信のための小児救急医療統合情報システムの開発研究（H29－医療－一般－007）



【目的・方法】

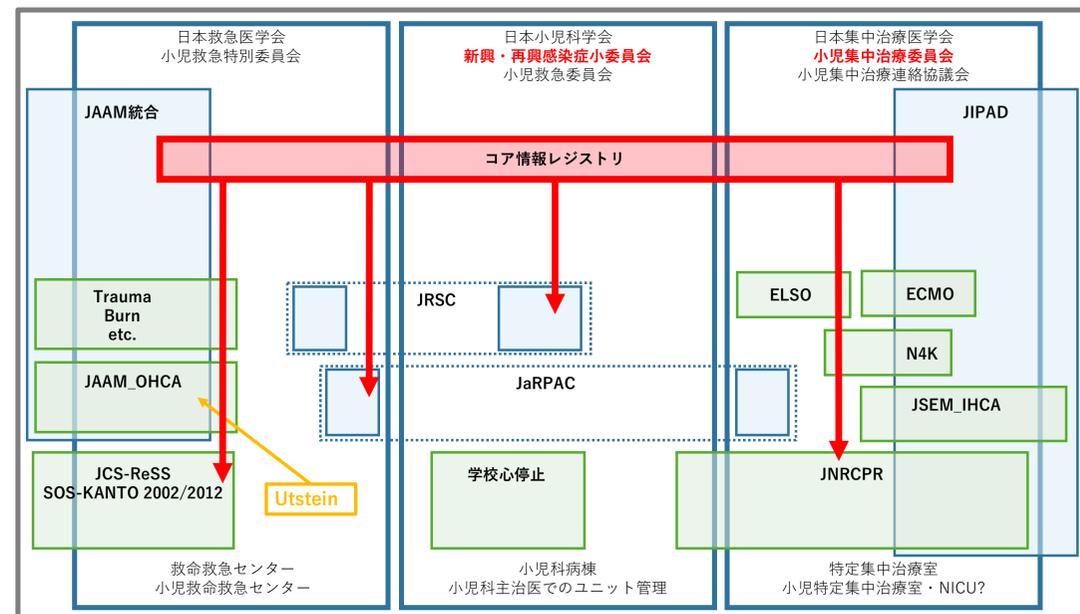
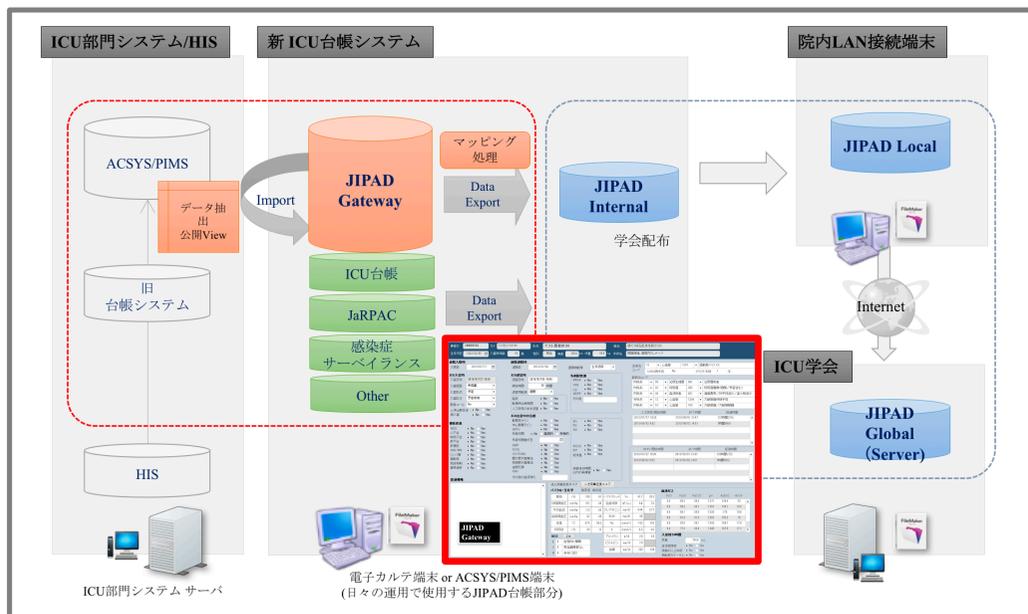
本研究では多彩な小児救急疾患の初期対応から安定化・高度医療、すなわち#8000等の電話相談、トリアージと緊急搬送、小児集中治療まで、シームレスに稼働しうる小児救急医療統合情報システム網の構築のための基盤研究を行う。こうした有機的な情報ソースを用いることにより、小児救急医療体制の最適化、小児救急疾患の予後改善と医療品質改善、最終的には、地域で安心して子育てができるための社会環境改善に還元することを目的としている。さらに災害関連情報や感染症パンデミック情報との連携も模索することとしている。

【結果1】

小児救急関連レジストリは、発生場所や管理主体に依存する多様な学会等の運営主体により、既に数多くのものが作られている。同一患者を複数登録し、コア情報の重複入力もされている。用語定義についても統一がなされておらず、混乱と非効率の源となっている。これら問題の解決のため、既存レジストリのライブラリ作成、コア情報レジストリのアプリケーション作成、が必要であると考えられた。また、#8000については、その質的評価と全国展開を前提としたデータ有効利用にかかる方法論等の検討が必要と考えられた。

【研究の概要】

小児救急医療体制の品質評価・最適化・情報発信のための小児救急医療統合情報システムの開発研究（H29－医療－一般－007）



【結果 2】

既存小児救急関連レジストリ・ライブラリについては、調査対象レジストリの収集項目を全て確保し、項目をエクセルにまとめ、網羅的に全レジストリを俯瞰可能にした。各レジストリで解析可能な課題、研究者およびデータへのアクセス情報についても最終的に総括する予定で情報集約を進めている。これによりコア情報が抽出されるので、それらを各レジストリで将来的に共有して重複入力を避けるとともに、レジストリ連携による情報網を構築するため、コア情報レジストリ・アプリケーションの作成も開始した。

【考察・結論】

小児救急関連レジストリは多学会を学際的に横断するため、調査項目の重複や定義の不一致などの問題点が多々抽出された。最小労力で最大効果を出すためにも、また、将来的に既存レジストリを有効に活用しつつ統合して、一定の情報網として活用するためにも、項目整理と用語定義を行った上でのコア情報レジストリ策定と提供・活用が望まれた。

#8000については、その質的評価に加えて、トリアージや治療結果との連携がないとPDCAサイクルに繋がらない問題があり、今後の検討課題と考えられた。